

「アサヒの森」の適正な森林管理と 地域との協働の活動 ～自然の恵みを明日へ～

2017年1月28日
アサヒの森環境保全事務所
田盛 一男



THE ASAHI FOREST Since 1947



アベマキの樹皮



SCS Global Services does hereby certify that an independent audit has been completed and conformity to the applicable standard(s) has been confirmed for:

Asahi Breweries, Ltd.

1-23-1 Azumabashi, Sumida-Ku, Tokyo 130-8602 Japan

This operation meets all of the necessary qualifications to be certified for the following claim:

Well Managed Plantation Certification

Asahi Breweries, Ltd. has been shown to meet all of the necessary qualifications to be certified as a Well-Managed Plantation in accordance with the Forest Stewardship Council®'s Principles & Criteria, as elaborated by the SCS Interim Standards for Plantation Forest Management Certification in the Country of Japan under the FSC (V 2.2).

For the following product(s):

Logs of Sugi (*Cryptomeria japonica*) and Hinoki (*Chamaecyparis obtusa*).

Certificate Code: SCS-FM/COC-00037P Trademark License Code: FSC-C004188

Valid from: 30 September 2016 Expiry date: 29 September 2021

This certificate itself does not constitute evidence that a particular product supplied by the certificate holder is FSC-certified or FSC Controlled Wood where applicable. Products offered, shipped or sold by the certificate holder can only be considered covered by the scope of this certificate when the required FSC claim is clearly stated on sales and delivery documents. The scope of this certificate is considered accurate on the date of issuance. The current validity and scope, including the full list of products, shall be verified on <http://info.fsc.org>. The certificate shall remain the property of SCS, and this certificate and all copies or reproductions of this certificate shall be returned to SCS immediately upon request.



The mark of
responsible forestry



SCSglobal
SERVICES

Robert J. Hrubes, Ph.D., Executive Vice President
SCS Global Services
2000 Powell Street, Ste. 600, Emeryville, CA 94608 USA

間伐作業

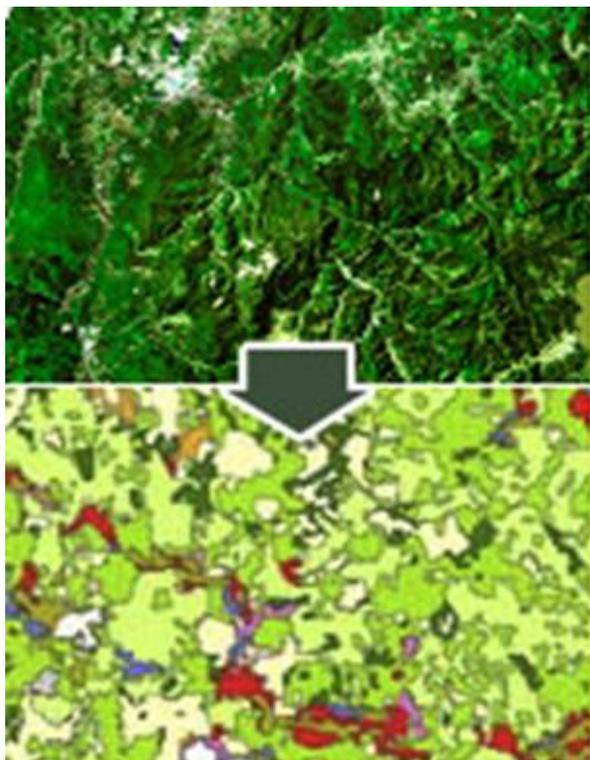


生物多様性の現況確認

全15ヶ所の森で第三者による“生物多様性評価”を実施

※

2010年
文献資料調査



2011年
動物（主に鳥類）調査



2012年
植物調査



(※いであ株式会社)

10のチェック項目による検証

生態系構造 の視点

① 下層植生が発達しているか

動物の生息 の視点

② 食物連鎖の高次捕食者がいるか

③ 希少な鳥類が生息しているか

④ 昆虫食の鳥類が多数いるか

⑤ 鳥類の種類は多いか

⑥ 植林と自然林の種数差が小さいか

⑦ 豊かな森に住む哺乳類がいるか

植物の生育 の視点

⑧ 希少な植物が生育しているか

⑨ 植物の種数は多いか

⑩ 外来種が少ないか

全項目クリア！

有識者からの意見

山岸哲先生（山階鳥類研究所名誉所長）
による現地視察 2011年7月16日



専門家の意見

管理が行き届いている林は、林内が明るく下層植生も発達し、複層林化している。一方、手入れがされていない植林地は、暗く植生も乏しい。

自然林に比べて人工林は生物多様性の豊かさが大きく劣る、という常識は、必ずしも正しくないかもしれない。

アサヒの森のほとんどはスギ-ヒノキ植林地であるけれども、一般的なスギ-ヒノキ植林地と比べると、鳥類の種数が非常に多い。

アサヒの森は植林地が主ではあるけれども、管理が行き届いているのでたくさんの鳥類が生息できるのであろう。

適切な森林管理が豊かな生物多様性を育んでいる

結論

チェック10項目による検証

すべての項目をクリア

有識者の意見

「間伐など人工林における施行が適切に行われてきた結果、多様な鳥類が生息しているのだろう」



植物
668種



鳥類
60種



山岸 哲 先生

兵庫県立コウノトリの郷公園長、
山階鳥類研究所名誉所長、
新潟大学朱鷺・自然再生学究
センターセンター長

アサヒの森の生物多様性は
豊かな状態である

森林を活用することが生物多様性の保全に繋がる

アサヒの森 生物多様性の保全基本方針

2014年1月1日策定

方針 1. 守る

アサヒの森の生物多様性の保全を目指します

①針葉樹林を利用しながら守ります

適切な森林施業を継続的に行っていくことで、生物多様性の豊かさを未来へつなぎます。

②広葉樹林を守ります

アサヒの森の25%を占めている広葉樹林にたくさんの生きものが暮らしています。その豊かさを、知恵を出し合いながら守っていきます。

③それぞれの山の個性を守ります

15の山々の生態系や地域の特色を参考にして、個性のある保全の方法を考え、場所ごとに管理計画を作っていきます。

④貴重な生きものを守ります

アサヒの森に棲んでいる貴重な生きものたちが、安心して暮らせる環境を作っていきます。

方針 2. 活かす

アサヒの森の恵みを活かし、利用します

⑤自然の恵み（生態系サービス）を把握します

生物多様性の価値に加え、木材生産、水質浄化、温暖化ガス固定、環境活動の場の提供など、いろいろな価値を把握していきます。

⑥把握した自然の恵みを活かし、利用します

自然の恵みを活かしていくために、グリーンツーリズム、間伐材利用促進など新しい活用方法を検討し、実践していきます。

⑦ステークホルダーと自然の恵みを共有します

環境教育の場として「アサヒの森」が生み出す自然の恵みを、あらゆるステークホルダーと共有できる取り組みを進めます。

方針 3. 協働する

アサヒの森と一緒に活動します

⑧情報発信します

「アサヒの森」の魅力やアサヒビールらしい保全の取り組みを理解してもらうため、ホームページやパンフレットなどを活用して情報発信を続けます。

⑨仲間を増やします

「アサヒの森」のファンや活動に賛同し一緒に取り組んでくれる人々、活動の場を増やしていきます。

⑩交流の場を作ります

地域の人々や有識者、アサヒビールの社員が交流し、意見交換する場を設け、「アサヒの森」の守り方や活かし方に反映させていきます。

地元小学校との森林環境教育 (森と水の学習会)



県立広島大学との ワークショップ



ワタミグループとの協働



第5回

いきものにぎわい 企業活動コンテスト

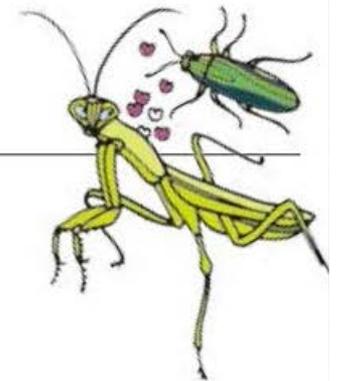
農林水産大臣賞

Minister's Prize, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

協働の活動によるアサヒの森の 持続可能な林業への挑戦

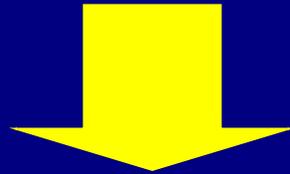
Sustainable forestry challenge at the Asahi Forest
with collaborations

● アサヒビール株式会社 アサヒの森環境保全事務所 / Asahi Forest Conservation Office, Asahi Breweries



アサヒグループの責任

森を守り続けること



自然の恵みを用いて事業活動を行う
アサヒグループの責任である

森を守り続ける

ビームは「自然の恵み」からつくられています。アサヒビームでは「美しい地球の恵みと人に優しく」を実現するために、「自然の恵み」を育んだ地球に感謝し、より健全な状態で子孫に残すために、この「アサヒの森」を半世紀以上も、社員自ら育て続けています。



FSC® 森林認証

「アサヒの森」は、2001年に適正に管理された森林として、世界的な森林認証制度「FSC」を取得。さらに2005年には、認証森林の木材製品の製造・加工工程を認証する「COCOA」も取得しました。



J-VERプロジェクト

アサヒの森「J-VERプロジェクト」(アサヒビーム(株)所有森林アサヒの森(北海道)での間伐促進によるCO2削減事業)は、所有林での間伐促進による温室効果ガス吸収量向上による取り組みです。日本国内のJ-VERを取得することで、森林整備の新たな促進や地域社会への結びつきを強めています。



アサヒグループ 環境ビジョン2020 自然の恵みを明日へ

アサヒグループは
4つのテーマを柱として、環境の課題に対して積極的に取り組み
持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



アサヒグループ 生物多様性宣言 ～自然の恵みを守ろう～

地球上のさまざまな生きものは、それぞれが役割をにない、
バランスを保ちつつ、相互につながって生きています。
きれいな空気や水、おいしい食べ物や飲み物、
私たちが日々生きていくために必要なすべてのものは、
さまざまな生きものたちが与えてくれる自然の恵みです。
水や穀物など、自然の恵みを用いて事業活動を行う
私たちアサヒビールグループは、
生物多様性を尊重し、より豊かな自然の恵みを守り、育み、
次の世代へ伝えていきます。

【生物多様性宣言に係る3つの基本方針と9つの行動指針】

1. 生きものたちのすむ自然を守ります

- (1) 生きものがすむ、豊かな川や海を守ります
- (2) 生きものがすむ、豊かな森を守り、育てます
- (3) 生きものがすむ、豊かな環境を工場周辺でつくります

2. 自然の恵みを大切に活かします

- (1) 自然の恵みを正しく利用します
- (2) 自然の恵みを、より有効に利用します
- (3) 自然のつながりを学び、活かす研究開発を進めます

3. 世界中の人々と一緒に取り組みます

- (1) この宣言をグループ全体で共有し、社員と共に取り組みます
- (2) 商品やサービスを通じて、自然の恵みの大切さをわかりやすく伝えます
- (3) ビジネスパートナーなどと協力し、グローバルに活動します

ご清聴ありがとうございました。